

学生の皆さんへ

2020. 7. 27

重要なお知らせです。

コロナウィルスの感染者増加に伴い、愛知県内の大学生の感染者が毎日のように報告されています。どこで誰が感染しても不思議ではない現状であり、本学の学生もその危険の例外ではあり得ないと思います。そこで、下記のとおり、学内で感染者が出た場合の対応について説明しておきます。

1) 検査で陽性とされた学生について

検査で陽性になった場合は、保健所から指示があり、大学にも連絡がありますが、感染の可能性に気付いた時点でできるだけ早く大学に連絡してください。その上で、消毒が必要な場所の特定や学内における濃厚接触者の特定に必要な調査に協力してください。接触アプリをインストールしておくことは、この作業を容易にします。

保健所の指示により、入院、自宅待機等の期間があると思いますが、学業に支障がないよう補習や再試験等、大学としてできる限りの支援を行います。また、感染によって不当な差別や誹謗中傷を受けることのないよう、大学を挙げて全面的に支援します。

2) 濃厚接触の可能性範囲にある学生について

感染者との接触履歴については本来的には保健所の管轄ですが、学内でクラスターができる可能性を排除するため、大学独自の調査を行うこともあります。できる限りプライバシー等人権上の配慮をしますので協力願います。必要だと判断された場合は大学でPCR検査を受けられるようにしますので協力してください。これらの協力によって学業で一切の不利益が発生しないよう大学として最大限の努力をします。

3) それ以外の学生について

これから、いつ、どういう形で学内関係者が感染するか予測はできませんがこれまでも皆さんに約束してきた通り大学は、皆さんを守るために全力を尽くします。感染者が出ても慌てず大学の指示に従って冷静に行動してください。一人ひとりが感染を避けるために手洗い、マスク着用等、地道な予防活動を続け、もしもの場合に備えて接触

アプリをインストールしておいてください。

大学関係者の発表や学外への情報提供に関しては大学が責任をもって行いますので SNS 等で許可なく情報を流すことは絶対に止めてください。万が一、不用意な情報漏れによって学生あるいは大学に被害がもたらされた場合は、これに厳しく対処します。どれほど気をつけていても感染してしまう可能性は私たち全員にあります。至学館の仲間が誰も深く傷つくことのないよう、皆で守り合いましょう。

4) 休講、大学の閉鎖等について

学内でクラスターが発生した場合等、今後大学を一時閉鎖する、あるいは休講措置をとる場合が絶対ないとは言えません。その時期や期間、範囲等を予想することも不可能です。

皆さんの安全を守りつつ有意義な学生生活を続けてもらえるよう何をどこまで行うのか教職員一同、一生懸命知恵を絞っていきますので学生の皆さんの理解と協力をお願いします。

今の段階では今後の授業については予定どおりです。ただし、8月3日以降については今後の感染状況次第で変更もあり得ます。その場合はできるだけ速やかに連絡しますので、HP のチェックを怠らないようにしてください。また、目下の感染状況に不安を感じている学生は無理に通学する必要はありません。レポート提出等による代替の対応は可能です。担当教員に相談して許可を得てください。うまくいかない場合は学務課に相談してください。